

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	食品開発科学科					
科目名称	地域連携論					授業形態	講義			
科目コード	278704	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブラーニング		
担当教員名	矢野原 泰士								ICT活用	○
授業概要	本授業の目的は、「地域連携」に関する施策、ビジネスモデル、食料産業クラスターなどについて理解することです【基礎的知識の習得】。 近年、国や各都道府県の施策として、地域経済活性化への取り組みが推進されています。その例として、6次産業化、農商工連携、震災等からの復興などが挙げられます。本授業では、これらについて、事例を挙げて解説します【開発・適性利用実学の習得】。 また、専門家の方々に、地域固有の資源を活用した商品開発や地域連携事業の取り組みについて紹介していただく機会も設けます。									
関連する科目	事前に「園芸療法論」、「環境保全型農業論」を受講しておくことが望ましい。履修後は、「食品流通・消費論」を履修することが望まれます。									
授業の進め方と方法	授業では、「日本の食文化」、「日本の農業」、「地域連携に関する施策」などについて講義します【知識・理解の獲得】。そして、小テストを実施し、受講生の理解度を確認します。									
授業計画【第1回】	ガイダンス、他県の事例など									
授業計画【第2回】	日本人と食									
授業計画【第3回】	世界の食料・農業情勢									
授業計画【第4回】	日本の農業①									
授業計画【第5回】	日本の農業②									
授業計画【第6回】	日本の農村									
授業計画【第7回】	食品製造業									
授業計画【第8回】	県内における地域連携の取り組み（外部講師）									
授業計画【第9回】	JAの組織活動と地域再生、6次産業化の取り組みの特徴と課題①									
授業計画【第10回】	6次産業化の取り組みの特徴と課題②、水産フードシステムと地域資源									

授業計画 【第11回】	産学官連携の取り組み（外部講師）
授業計画 【第12回】	食品の流通、商品開発
授業計画 【第13回】	地域資源の発掘・活用①
授業計画 【第14回】	地域資源の発掘・活用②、農商工連携
授業計画 【第15回】	総括
授業の到達目標	1. 国や各都道府県が推進している地域連携・地域再生のための施策について理解する【基礎的知識の習得】。 2. 地域資源の発掘とその活用（付加価値の向上、事業の推進）ならびに関連機関との連携方法等について理解する【専門力の育成】。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	授業計画内容に関する情報を収集して予習をしてください。
授業時間外学習【復習】	講義内容をノートに記録し、1回の講義あたり1時間程度の復習をしてください。
課題に対する フィードバック	小テストは、評価後に返却します。最終試験は、試験終了後に解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲（授業中）（10点） 2) 小テスト（10点） 3) 定期試験（80点）
テキスト	薬師寺哲郎・中川隆 編著「フードビジネス入門」建帛社（2019）
参考書	・「ファクトブック2018」JA全中（2018） ・西田安慶・片上洋 編「地域産業の振興と経済発展」三学出版（2014） ・斎藤修 監修「フードチェーンと地域再生」農林統計出版（2014） ・斎藤修 編「食料産業クラスターと地域ブランド」社団法人農山漁村文化協会（2007） （公社）日本フードスペシャリスト協会 編 「三訂 食品の消費と流通」建帛社（2017）
備考	外部講師の都合により、講義の順番が入れ替わることがあります。